

移行期医療に関する実態調査（第2回） 実施要領

1 目的

- (1) 京都府内における移行支援対象者数の把握及び移行期医療に関する課題の整理並びに「京都府移行期医療支援センター」の活動内容の検討等への活用
- (2) 将来的な小児慢性特定疾病患者等の成人移行支援に向けた移行・併診先医療機関（成人期病院・診療所）の状況把握
- (3) 令和6年度に実施した第1回調査以降の変化の把握

2 調査対象

京都府内の小児科を標榜する病院

3 調査項目

- (1) 「移行期医療」に対する現状認識（理解度等）
 - ・「移行期医療」の概念を知っているか
 - ・移行期医療支援に関する情報を入手しているか
- (2) 診療実態
 - ・小児診療科での診療状況
 - ・移行・併診先医療機関（成人期病院・診療所）
 - ・移行支援状況
- (3) 院内における自律（自立）支援の取組状況
 - ・患者の自律（自立）に向けた患者・家族の支援等を実施しているか
- (4) その他
 - ・京都府移行期医療支援センターの認知度、行政（移行期医療支援センター）への要望、移行期医療支援の現状・課題等〔自由記載〕

4 調査方法

各医療機関へ調査票を郵送し、下記のいずれかにより回答を収集

- ① Microsoft Teams form による Web 回答
- ② 電子メールにて調査票を取り寄せ、メール送信
- ③ 調査表に記入し、ファクシミリ（FAX）により提出

5 スケジュール

<令和8年度>

7月中旬～ ○調査実施〔～7月末〕

8月下旬～ ○調査結果の取りまとめ

○令和8年度京都府移行期医療支援体制検討会における調査結果の共有